

●第68回施工ワーキング

平成23年5月21日（土）に第68回施工ワーキングを開催し、29名が参加しました。

今回は年度初めということで、新しいメンバーの紹介や一年間のスケジュールを確認しました。グループ活動も定期的な調査や現地確認などフィールドワークを中心に充実した内容となりました。

◇グループ活動

グループごとにフィールドワークを中心に活動しました。

第68回 プログラム

1. 前回（67回）の確認
2. 事務局からのお知らせ
 - 2-1.今年度のスケジュールについて
 - 2-2.維持管理工事について
3. グループ活動

★植物グループ

毎年5月に行っている定期調査のコドラート調査、林縁及び道ぎわ定点写真調査、根株移植したサクラのモニタリングについて、現地を歩いて確認しました。

定期調査

サクラのモニタリングの結果、1本が羽アリの被害を受けていることが分かりました。

切土擁壁部の植生回復状況確認



コドラート調査とは...
その地域や区画の植生の特徴を示していると思われる場所を選んで、そこに正方形の枠を設置し、その内側を標本として調査を行います。

今後は、盛土擁壁下部、切土擁壁上部の定点写真調査を5月の調査に加えることにしました。

植生回復

現地にあるナツツタを盛土擁壁側に水平移動して壁面の植生回復を進める作業を行いました。



適切な保全作業を検討していきます。



羽アリ被害状況 ★1

5月13日撮影
今後の作業として、ツル植物の苗づくり、擁壁下部のテイカカズラの誘引などを行います。また、ミツバツツジの挿し木にも挑戦する予定です。

★動物グループ

植生回復の状況調査

★2

動物グループは、昨年12月に種まきをした箇所の発芽状況を確認しました。

切土法面は、植生回復があまり進んでいません。



配がきつのが原因では？

植物グループと協力して対策を検討していきます。

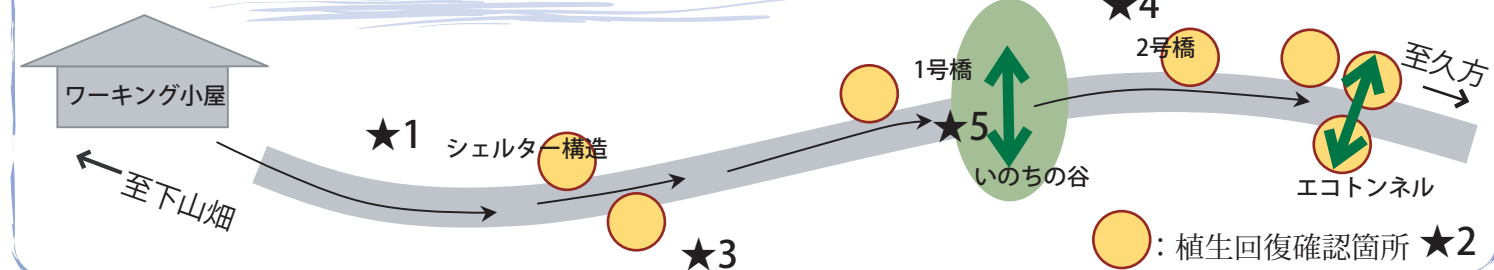
アカメガシワは、全箇所が発芽していました。

センサーカメラ設置

新メンバーとともに、今年度初回のセンサーカメラの設置を行いました。これまでの経験を活かして設置していきます。



★フィールドワーク位置図



★施工グループ

定期観測・調査

新年度のスタートにあたり、新しいメンバーとともに、地下水位、シェルター構造上部水位、湧水量、沢すじの浸食状況の調査ポイントで実際に計測を行いました。

そのうち、湧水量調査箇所では、三角堰の清掃を行い、崩れかけている箇所は玉石で補強しました。



★3

次回以降、水の流れを真ん中へ導くため、三角堰の両端を板で補強する予定です。

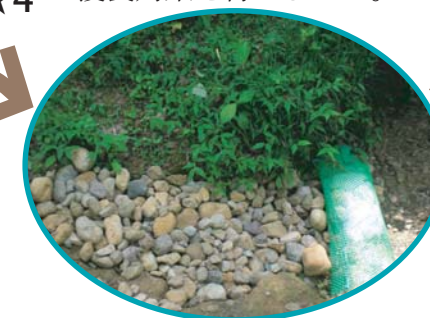
沢すじ部の浸食対策

★4

浸食した部分に玉石を詰めて...



沢すじ部に、橋台周りなどから採取した玉石を設置して、浸食対策を行いました。



目立ちすぎないように落ち葉で覆いました。

石が流れ出さないようにネットで堰止め...

今回は、台風シーズンが到来する前に、昨年つくった簡易ダムの補強を行います。

★交通グループ

いのちの谷付近の散策ルート検討

フィールドワークでは、管理用出入口を移動する作業を行いました。いのちの谷へ直接踏み込むことのない位置になりました。



散策路の位置についてグループで話し合い、選定したルートについて施工ワーキング全体で確認しました。

散策路の付け替え作業は、今後のグループ活動で進めていきます。